

大村さん、河村さん！

愛知県知事 名古屋市長

導水路撤退

「導水路見直し」共同公約から
2年経ちました。

河村たかし名古屋市長は、2009年5月、導水路事業から撤退したい、という発言をしました。2011年には、大村（愛知県知事）河村（名古屋市長）コンビの共同公約として「導水路見直し」が掲げられました。私たちは大いに期待しました。

が、現時点で「見直し」も「撤退」も、何の動きも見えていません。そしてこうしている間にも、事務所経費と人件費だけで、毎年2億円をゆうに超すのお金が使われ続けています。

徳山ダムから水を引く木曾川水系連絡導水路。事業費890億円、うち愛知県負担約318億円（利水＝約186億円、治水＝約132億円）、名古屋市負担約121億円です。愛知県にとっても名古屋市にとっても、全く使い途のない不要な事業であるばかりか、長良川及び木曾川に甚大な環境被害をもたらすおそれがあるものです。

昨年末に発足した安倍内閣は、昔ながらの「公共」事業推進姿勢を打ち出しています。このままの推移に任せれば、本体工事強行へと向かうでしょう。

今なら「撤退ルール」（独立行政法人水資源機構法令に規定）に基づいて、愛知県・名古屋市は撤退負担ゼロで、この導水路事業から撤退できます。大村さん、河村さん。速やかに正式に「撤退」して下さい。現在国が行っている”再評価”の場で、明確に「中止」を表明して下さい。



今なら、撤退負担金ゼロで撤退できる！

是非傍聴を！ 住民訴訟（木曾川水系連絡導水路への公金支出差止請求）第16回 口頭弁論
1月23日（水） 10：45 ～ 名古屋地方裁判所 1号法廷

導水路はいらない！愛知の会 <http://www.dousuiro-aichi.org/>